

今週の活動から



1月25日(水)の県央八市議会議員研修会場の座間市のハーモニーホール座間のロビー。天井には座間の大風が吹かっています。13m四方(100畳)の大きさで、重量は約1,000kg、約100人で風を揚げるそうです。座間市の地下水から作られた「ざまみず」を手に。

(釘丸久子議員)



1月29日(日)第63回あつぎ駅伝競走大会が茨野運動公園をスタート・ゴールにして行われました。地区対抗が21.5km、高等学校・一般の部が22km。地区対抗は25チームが参加。南毛利地区はA・B・C3チームが出場。優勝は南毛利南Aで3連覇、2位は睦合南A、3位は南毛利Aでした。(栗山香代子議員)

2月の法律相談

2月21日(火) 1時半～

前日迄の連絡を!

県央八市議会議員合同研修会

これからの防災・危機管理 ～個人の備えと組織の対応～

1月25日(水)午後、ハーモニーホール座間で平成28年度県央八市議会議員合同研修会が開催されました。講師は、防災システム研究所所長・山村武彦氏です。

講師の山村武彦氏は大学生時代に遭遇した新潟地震のボランティア活動を契機に防災アドバイザーをめざしました。災害現地調査を実施し、防災意識の啓発に取り組む、災害に強いまちづくりをめざしています。

明日あるかもしれない 災害に備える

各地で毎年防災訓練をやっているが形式的なものが多く、災害後の対処訓練ではなく、これからは命を守るためにスマート防災II災害予防訓練・在宅避難訓練を行うべきだ。地震があった時、みんなで並んで旗を先頭になどの避難はできない。

災害はいつ起こるかわからない。夜間や未明の訓練も必要だ。防災はマナーだ。被害者にも、被害者にも傍観者にもならないために、最悪の事態を想定して悲観的に準備し、楽観的に生活する。

みんなが一役以上の役割分担笑いが絶えない避難所

去年の熊本地震では、西原村河原地区の避難所で笑いが絶えなかった。

三日間孤立して食料が届かなかったが、各自の家の食料を持ち寄り小学校の給食室で炊き出し、数百人分の食事を用意。避難所のスペースは近所ごとに配置した。この地域は、全住民の同意を得て、各人の特技までを記載した「得意名簿」

を整備し、誰が何を分担するかがすぐわかる。子どもたちも掃除や履物を揃えるなど各自が一役以上を分担し、住民同士が助け合って困難を乗り越えた。

3つの行動パターン

突発的災害時、人の行動は3つに分かれる。落ち着いて行動する10%、取り乱す15%、ショックで思考停止状態75%。東日本大震災の時、津波が来ているのにゆっくりとしか動けなかった人がいる。凍りつき症候群である。

防災訓練は住民の意識をあげる事が大切。防災訓練でここではなく、生き残り訓練をしよう。

地震の状況に応じた対応が必要だ。机の下に潜りこむことが安全とは限らない。家がつぶれたら下敷きになる。安全ゾーンを確保する。閉じ込められないように玄関のドアを開ける。夜寝る時は家族全員が避難所を玄関に揃える。

「近助」の防災隣組を

自助・共助・公助というが、「近助」こそが大切だ。向こう三軒両隣で防災隣組をつくらう。「互近助(きんじょ)」カードに個人の情報を入れておこう。昭島市では中学生に安否確認の任務を与えている。阪神淡路大震災では市職員がコンビニに営業を求め、一

話題あれこれ

厚木市表彰式 フルーツ

厚木市制施行記念日の2月1日にあわせて厚木市・厚木市教育委員会表彰式が開催されます。今年は1月28日(土)。地域に貢献、文化・スポーツ大会等で優秀な成績だった219人・27団体が表彰されました。

表彰式の後に、受賞した方のステージでの披露があります。これまでもダンスや空手、詩吟などがありましたが、今回は神奈川県音楽コンクールで1位となったフルートの女性。ピアノと共演で、優しくやわらかな響き、一人で演奏しているとは思えないほどの複雑なメロディーに感嘆の声が上がっていました。4歳からピアノ、市内の中学校でフルートに触れ、その魅力でフルートの道に入ったとのこと。



進む道は一人ひとり違います。表彰された皆さんはもちろん、表彰されなかった多くの皆さんの努力にもまた敬意を捧げたいものです。

安全は与えられるものではなく、自ら努力して勝ち取るものである。防災とは、大切なものを、最後まで守り抜くこと。